Gôkan:(No. 020)
Taketori Monogatari.
Part 2. BOOK 6--10.

へ 13
3690
6

國貞画

竹取物語

六編上

森治板

京山作

國貞画

竹取物語

六編上

森治板

竹取六編下

門 へ13
號 3690
巻 6

竹取物語六編自叙

源の順が作ありとものゝ伝ふるこの竹取の名誠に惜しむ梅若松若ゲ事蹟孟浪して児戯の稚史とあり初編より五編成嗣人今また六編の筆とたゝらず其業より竹の管あり墨より掃れ匂ひありその昏机ハ松の木ありあのづから松竹梅の三清より因なきこゝもあらず才ハなくとも經くて力部の節まもたらず竹取なるまどのしの献うて あゝて一日も此君と推賞恥づ昏質の幸也

脫春脫稿
初冬裁取

山東庵題

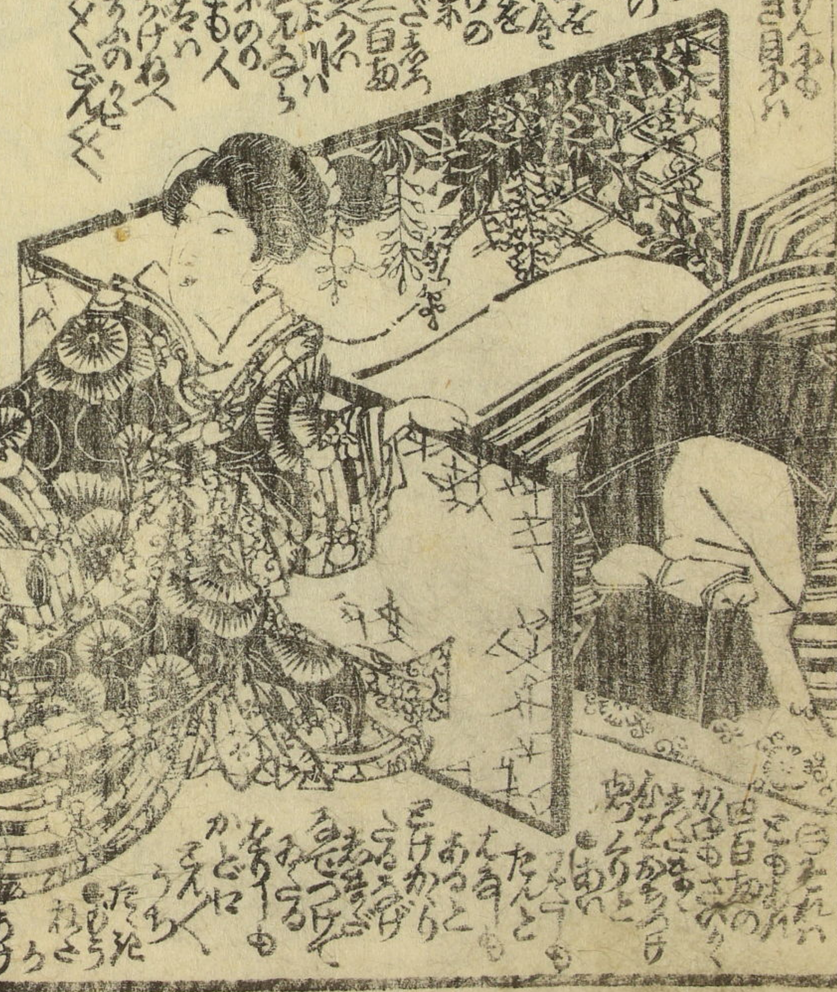
梅若丸
物思ふ

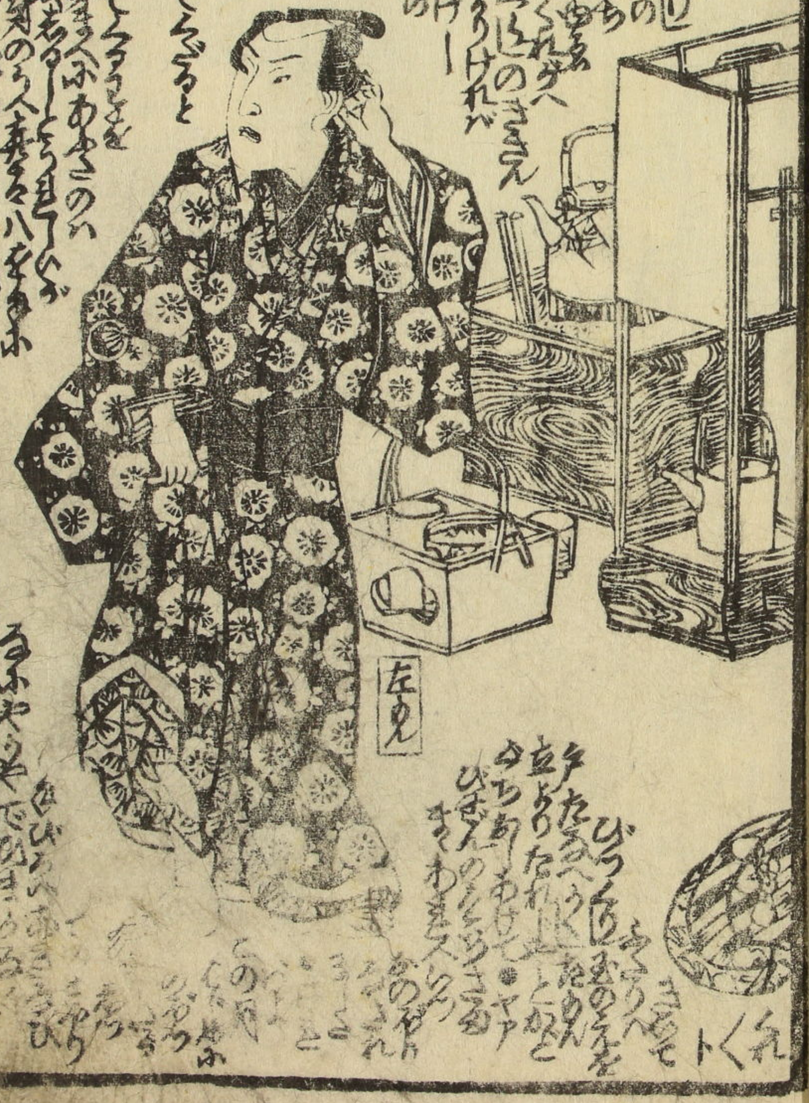
人丸

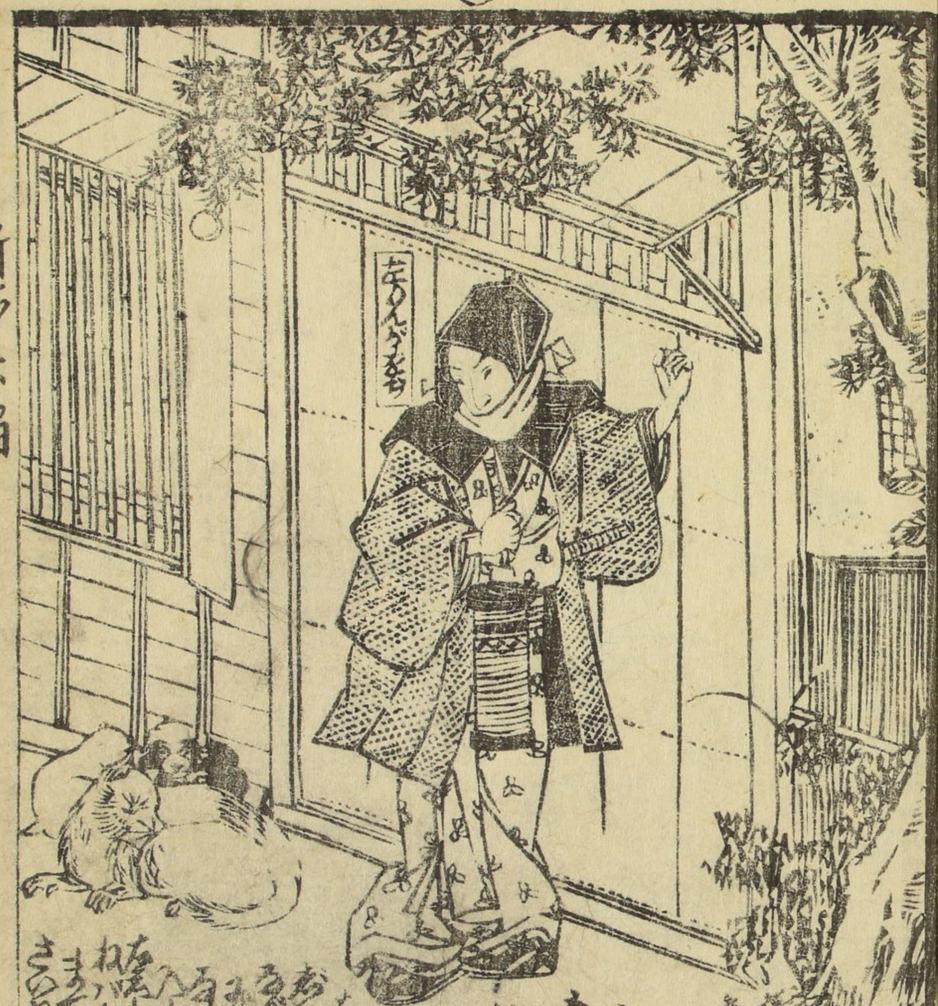
竹取六編
つるぎきよ川

仙女香
さつよいの
(五)

さつよいの
(六)







左のしたをら

左のゑ
左のゑ

左ゑ

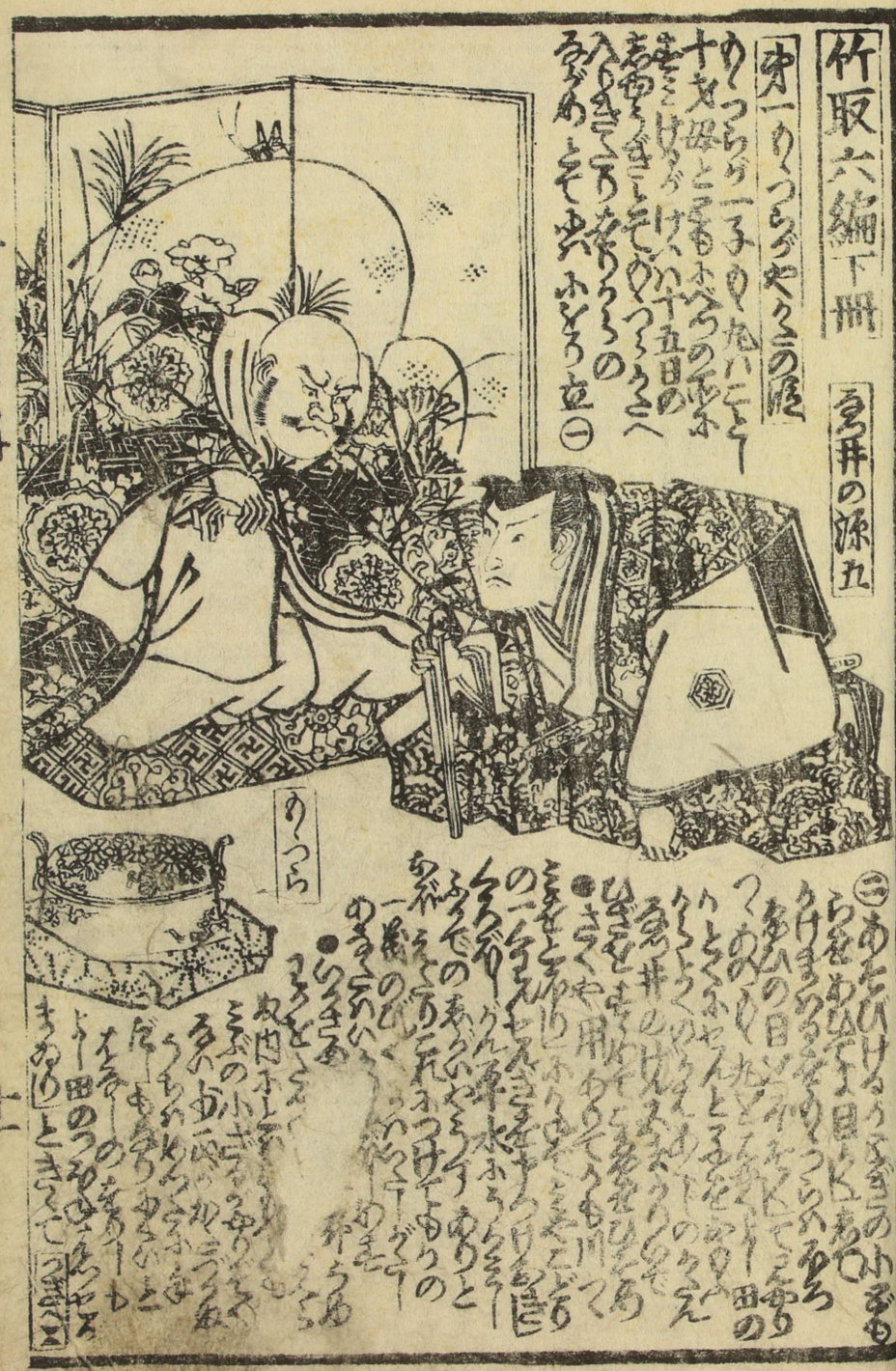
竹枝元に上

竹枝六編

左めんが

作者口上
江戸京ゞ
ぜん尾一丁目
京でんこせ
のあぶえを
きこえの業
よくはちろ
ろくえくえ九つゝ
百六十四せん
次又
ゑの井
の源五
六でらの
さま

竹取物語六編上冊終
源五
京山作
國貞画


竹取六編下冊
第一りつぐつらがやくそのこと
十文字とこまかいぐつのこと
きこしめすけいかの十五日の
あまのつぎこそのつくりかたへ
入らきこうりなりうらの
ろうめとそ出ふとろ立一
竹取六編
第五井の源九
りつぐつら

さんぎろろさ
のこり九番
松若丸

のこと九郎
松若丸

そのこ
らんらんと
のこと
源九

松若

のつら

仮聖之編
杉若
竹取大編

ゆさぐびの六
えぶのこざる
寺子屋
松若
初せ
山田の三郎

梅若丸
きつねの子
めっぷら
山田の三郎

京山作
國貞画
白牡丹
百匁四せん
極上さの
五十六せん
扇若
扇右
扇元口上